

- SDGsは当社の事業活動の延長線上にあるもので、**本業に邁進することが自ずとSDGs経営の取組に繋がると**考えている。
- **地域でのパートナーシップ形成**や**スマート農業**の取組を推進し、**地域貢献**や**強靱な会社づくり**等に取り組んでいる。

○SDGs経営への取組経緯

- ・当社のみかん栽培の歴史は、曾祖父の時代にまで遡る。
- ・社長がみかん農園を継承するにあたり、後継者となるべく農大で学び直していた時期に出会った教授からGAP (Good Agricultural Practices: 適正な農業の実践) の情報を得る。経営力向上に向けて収益の安定化や組織化を検討するうえで、安心・安全な生産環境の構築や優秀な人材育成を目指すGAPの考え方が必要と認識。『**持続可能な生産活動**』を実践する優良企業に与えられる**世界共通ブランド**として国際基準が定められている「**GLOBALG.A.P.**」や「**ASIAGAP**」の認証を取得。
- ・GAPには「**食品安全**」、「**トレーサビリティ**」、「**作業従事者の労働安全と健康**」、「**環境**」の4つの観点で基準が設けられている。要件を充足することがSDGsの活動そのものであり、本来業務として自然体で取り組む事ができた。

○社内での取組について

- ・安全性と健全性の評価基軸でもあるGAP認証を維持（毎年更新）することがSDGsへの取組そのもの。
- ・社員に対し取り立てて強調するような指導は行っていないが、**商品や生産・管理体制の質を維持するための行動の一つ一つが当社のSDGsに繋がる**ことから、各の業務に真摯に向き合うことを互いに心がけている。



【社員の皆さま（同社農園にて）】

○SDGs経営における当社の取組



【GAP認証の取得】

- ・農業法人としての体制強化に向け、2015年に**かんきつ類では国内初**となる「**GLOBALG.A.P.**」を取得。更に、2017年には「**ASIAGAP**」も取得。
- ・農薬の使用状況や採取、選果など栽培から出荷における全てをデータ化することで品質管理を徹底。**認証取得をきっかけに大手スーパーや海外への販路拡大も実現**。大手企業との取引も呼び水となり、近年では更に引き合いが増えている。

【認証取得支援】

- ・毎年の認証更新に備え、作業内容の記録や申請書類等を一元管理するオリジナルのシステムを構築。
- ・GAP認証を広げることは業界の活性化にも繋がることから、**地域の学校や農家への本システムを活用した認証取得支援**を開始。この取組が縁となり、支援を行った学校の卒業生が一昨年に入社。

【農業機械の電動化】

- ・主要な農機具を電動の器機に変更し、**化石燃料の使用量を80%削減**。従来品に比べ、音や振動による身体への負担が大幅に軽減。**作業環境が改善**されたことで、社員からも好評を得ている。

【耕作放棄地の再生】

- ・作り手がいなくなり手つかずになってしまった耕作放棄地を購入。手を加えてみかん畑として再生させることにより収益の増強だけでなく、**地域の農業活性化や自然環境の保護**にも繋がっている。

【サステナブル商品の開発】

- ・従来は廃棄されていた**摘果みかん（間引かれたみかん）の有効活用**を検討。モロッコ発祥の塩レモンをヒントに、「**塩みかん**」を開発。**ANA国際線ファーストクラスの機内食**で採用される他、空港、百貨店等でも販売。
- ・**当社、漁協、地元高校が連携**し、鯛の販売量回復に向けて**当社の塩みかんを活用したパスタソース**を開発。販路開拓においては金融機関もサポート。

○今後の取組について

- ・企業や大学とも連携し、ドローンやロボットを活用したスマート農業への取組を進めることで効率化や職場環境を改善。**先進的な取組をやりがいに繋げる**。
- ・本社隣接地に工場を新設し、加工品の量産体制を整備。地域の農家から2～3級品のみかんを買い取り、ジュースやゼリーに加工。**付加価値を付けて適正価格で販売**することで、**業界の維持・発展**にも取り組む。



【塩みかん
（完熟みかん・青みかん）】



【選果場見学】

○会社概要

【本部事務所】愛媛県八幡浜市産業通2番20号
希少価値の高い「**媛小春**」を始め多品種のみかんを栽培する他、みかんを使用した調味料の製造や、地元高校生との産学協同による商品開発も実施。また、国際認証である「**GLOBALG.A.P.**」の取得を始め農業用機械の電動化、自社システムを核としたスマート農業の取組等、持続可能な農業経営を目指した取組も続けている。